

経験すること

〔高校生・一般の部 金賞〕

比治山女子高等学校三年 杉浦 日向子

私は今年の五月で十八歳になりました。法律上では成人したことになります。選挙にも行こうと考えていますが、周りから見ても、まだ子どもに見えると思いますし、自分でもその通りだと感じます。

それはなぜか。私は経験の差があるからだと思います。例えば、一回り離れている人を見てこの人は子どもっぽいな、と感じこともありますし、同じ年の人を見て大人びた人だ、という感想が生まれることもあります。それはその人の思考、言動、举动を含めてその人が送ってきた日々や経験が雰囲気を形成しているからではないでしょうか。

今まで成人すれば大人になれると思つて暮らしてきましたが、驚くほど変化はありません。大人になるということは年齢のようなシンプルなものではなく、それぞれが生きてきた経験によつて判断するもののような気がします。素敵な経験を経て大人になつた人は輝いて見えます。まだ子どもでいるからこそ、糧になる経験を積んで輝く大人になりたいです。

その失敗を成功へ

〔高校生・一般の部 銀賞〕

広島皆実高等学校二年 佐野 ひなこ

失敗してもその事を誤魔化さず、その失敗を成功へと変えられる大人になりたい。大人になつた時失敗しないよう子供のうちにたくさん失敗しておきなさいという人がいる。まるで大人は失敗してはいけないと言つてゐるよう聞こえた。そんな私は、失敗しない自分を追い求め失敗する自分が許せなかつた。だが、ある人から貰つた「失敗から学ぶことができれば、その失敗は成功だ」という言葉によつて私の失敗に対する捉え方は大きく変化した。失敗を恐れて立ち止まつたままでは、成長することはできない。立ち止まりいつも同じ景色を見ることで失敗から逃げていた自分に気がつくことができた。いつもとは違う道を選べば、今までより多くの失敗と出会うかもしれない。しかし、その失敗から学ぶことができればその分、成功とも出会うことができるのだ。

失敗してもその失敗を成功へと変えられる大人を目指して、色々な事にチャレンジし、悩んで、考えて、少しずつ前に進んでいきたい。

私の目指す教師の姿

《高校生・一般の部 銅賞》

基町高等学校一年 松岡 美陽

地元の大学に進学して、教員採用試験に合格して、いつまでに結婚して…。私は、教師を志すようになつてから、人生のプランを何となく、たてていた。高校に入学して、一、二か月程過ぎた頃、一人の先生にそのプランを話した。「つまらない。」返ってきた予想外の一言に正直、少し戸惑つた。しかし、それと同時に教師になる方法や道のりはたくさんあることを教えてもらつた。

「つまらない。」耳にした直後は、少し抵抗があつたこの一言には、「冒険しろ、挑戦しろ、可能性を諦めるな」と私の背中を押す、先生の熱い思いが込められていたのだろう。あれから、第一志望校を変え、ハードルの高い目標を掲げる決断をした、今私のだからこそ、そう感じる。

教師の一言は、生徒の人生・将来の選択をも変え得る。誰かの決断や選択を応援したり、時には視野を広げてあげたりするような一言をかけられるようになりたい。そして、自分自身の冒険し続ける心も忘れずにいたい。それが、私の目指す教師の、大人の姿である。

責任ある行動

〔高校生・一般の部 銅賞〕

広島皆実高等学校三年 伊藤 そら

大人になるということ、それは自分自身で責任をもつて行動するということだと考
える。

私が中学二年生の頃、西日本豪雨により、地域で土砂崩れや建物の崩壊が起こった。
そのため、急遽がれきの撤去などをを行うボランティアが募集された。急遽だつたにも
関わらず、多くの人々が集まつた。自分の家が被害にあつたわけじやないのに参加し
ている人もいた。当時の私はそれが不思議でたまらなかつた。参加した理由を問うと、
「自分たちが住んどる地域なんじやけえ、責任を持つてみんなできれいにするんよ。」
との返答があつた。これを聞いたとき、私はこれが大人なんだなと思つた。自分の家
が被害にあつていなからいいという訳ではなく、自分が住んでいる地域のことは責
任をもつて行動することが大切であり、それができる人が大人なんだと分かつた。
私は、この経験から責任をもつて行動できる大人になりたい。そして、よりよい世
の中にできるように自分の事以外の問題にも行動できる大人になりたい。

相手の気持ちを考える力

〔高校生・一般の部 入選〕

私は、大人になるということは人が何を考えているか感じ取れる力がつくことだとと思う。なぜそう思うかというと、私自身が経験して感じたことがあるからだ。

私は昔、自分の事しか考えずとても無神経な行動をして友達を傷つけてしまったことがある。今になれば、どうして相手が傷つくのではないかと考えて行動できなかつたのか、少し考えれば気付けたのではないかと後悔している。自分がもつと考えて行動していくれば良かった、と思うことは高校三年生になつた今でも沢山あるけれど、大人に近づいていくにつれて自分の行動や言動の先に何が起ころのか、相手がどんな気持ちになるかが分かるようになつた。それは、小さい頃から沢山の友達と出会い、お互いに傷ついたり嬉しくなったり、言葉や行動を通して沢山の経験をしてきたからこそついた力だと思う。

大人になることには、沢山の意味や役目があるけれど、まず私は成長するにあたつて多くの人からもらった人の気持ちを考える力をいつまでも忘れず大切にしていこうと思う。

本当の大人

《高校生・一般の部 入選》

広島皆実高等学校三年 石川 花菜

私は、部活動の顧問の先生にこう教わりました。「子どものままの大人も沢山いる。ただ大人になるというのは精神状態を高めることだ。」先生はよくこう話していました。

私はバレーボール部で学んだことがあります。試合で勝つこと、そして技術向上のために、本気で考え方練習することで身につくもの、それは、自分の力で考え方行動することや仲間や他人のために努力する精神力です。部活動をしているから勉強する時間ががない、というのはただの言い訳で、部活動に尽くす精神力のある人は、どれほど忙しくても勉強に熱中できるのです。

私はよく言われます。「部活忙しいのに、勉強もして下さいね。」と。決して成績が良い訳ではないですが、隙間時間に何かしらすることを見出だしているだけなのです。これを言わされた時私は大人に近づけたのかなと感じました。そして私は子どものままの大人ではなく本当の大人になりたいと思います。

「大人になるための一歩」の繰り返し 〈高校生・一般の部 入選〉

広島県瀬戸内高等学校一年 上平 真央

私は大人になるということは、ただ成人年齢を超えることではなく、昔の自分や少し前の自分より成長したと思えることだと思います。失敗や後悔した経験をそのままにして終わらせずに、何がいけなかつたのかを考えて次のチャンスに生かして成功できたときに成長できていると思います。このようにして、今までに自分が学んできたことを、新しい環境や新しい学年になつたときに一から始めるのではなく、継続させて次の新しい段階で生かして進んでいくことが、「大人になるための一歩」であり、繰り返していくことで成長して大人になつていくと思います。

そして私は、周りに流されず自分に自信を持てる大人になりたいです。自分が周りと違う意見だった時に自分の意見をはつきりと伝えたり、自分がやつてみたいと思つたことに素直に自信を持つて挑戦したいからです。自分のなりたい大人になれるようには、日々挑戦して成長できるように何事にも一生懸命取り組みたいです。

憧れの大人

『高校生・一般の部 入選』

比治山女子高等学校三年 鍵屋 美咲

小さい頃大人に対して持っていたイメージは、輝きだつた。自分の身近にいる大人はいつもキラキラしてたし自分の好きなことをしていて楽しそうだつた。あの頃の私は早く大人になりたかった。

しかし、十八歳になる今「大人」は全ての責任を自分自身で背負わないといけないのだと気付いた。大人は子供と違つて他者から守られていない。自分のことは自分で守るしかないし、自分の責任は自分で取らなければならない。現実的なことを突きつけられて目を逸らしたくなる時もあるが、周りで輝いている大人は平然とした顔でそれをやつているのだ。だから傷ついた自分を自分で癒やしてあげる必要があるのだ。私は今でも大人という存在に憧れている。だがまだ子供でいたいと思う気持ちが本音だ。この矛盾した感情を持ちながら皆大人になつてゐるのだと思う。大人になるということは自分のことを愛すことだとこの作文を書いていて気付かされた。私はもうすぐ成人する。自分も他人も愛せる大人になりたい。

18歳になつて…

《高校生・一般の部 入選》

比治山女子高等学校三年 大地 花凜

私は今年で18歳になつた新米の成人です。成人した人は大人でかつこいいというイメージを勝手に持つていたけれど、当たり前だけど特に成人をしたからといつて気持の面では変化はありません。成人した次の日、郵便受けに白い封筒が入つていました。おそるおそる開けてみると中に入つていたものは選挙の投票所入場券でした。この時初めて「あ、私は大人になつたんだな」と感じました。しかし、政治にまつたく興味のなかつた私は、「せつかくだから投票したいけど、誰に投票したら良いのか分からぬ」と困つてしましました。今まで大人が政治をして子どもが安心して暮らせる社会を作つてくれっていました。しかし、今度は私が政治をして大切なものを守つていく立場になつたのです。

大人になるとは、自分の力で大切なものが守れるようになつたり、自由になることだと思います。しかし、自分の選んだことやしたことについて責任を自分でもたなくしてはいけません。これからは、しつかりと一つ一つの行動に悔いのないよう生活しようと思います。

責任を持つ

〔高校生・一般の部 入選〕

比治山女子高等学校三年 中村 心萌

私は大人になるということは、自分で自分の責任を持つということだと思う。いい事も悪いことも自分の行動に責任を持つことは、大人として、社会の一員として必要だと思う。

私は広島市こども図書館でボランティアをしている。ボランティアでは、図書館の装飾、絵本の読み聞かせ、イベントの手伝いなどをしている。図書館で名札をつけて作業していると、来館の方に、スタッフだと思われることが多々ある。その時、私は大人になる人としての責任が感じられる。何か聞かれたり、案内したりする一つ一つの行動が、私の責任であり、図書館に対する責任であると思う。うまくできることよりも、失敗した時の態度や言葉遣い、次の時の行動が大事だと思う。一人の人間として、社会の一員として試されている、大人の練習の良い機会だと思う。

まだ許される、が、もう許されない日まで刻一刻と迫つてきている。大人としての責任のある行動をとらなければならない。

大人になる第一歩

〔高校生・一般の部 入選〕

比治山女子高等学校三年 田口 鈴菜

大人になるということは、世のため、人のために行動できることだと私は考える。数年前、私は貧しい国や地域でボランティアとして募金活動や支援活動を行つてゐる人に出会つたことがある。その人はボランティアであるため、もちろんお金などは貰つていなかつた。しかし彼女は、

「お金や利益は関係ない。人々が少しでも幸せになつてくれればそれで満足です。」と言つていた。私はその言葉を聞いた時、彼女のような大人になりたいと思つた。

いつも周囲に気を配り、行動でくる人はなかなかいない。時には自分のことを優先しなければならない時もある。しかし、そんな時でも相手を思いやる気持ちを決して忘れてはいけないのだと思つた。

これから先、いつどんなことが起ころかは誰にも分からぬ。だからこそ、常に周囲に気を配り、自分のためではなく、相手のために行動できる人でありたいと私は思う。それがいつか彼女のような大人になれる第一歩だと信じて。

私のなりたい「大人」

〔高校生・一般の部 入選〕

比治山女子高等学校三年 村上 晴瑠

本音と建前を使い分けられること、空気が読めること、いつも落ち着いていること。これが、よく言われる「大人」だと思う。もし私が成人して、なるべき「大人」がこんな大人なら、私は大人になりたくない。

私の目指す大人は、もつと自由で心を解放しているクリエイティブな大人だ。そして、最近はそんな成人も増えていくような気がする。だけどそんな成人は「大人らしくない」と言わになってしまう。でも、大人「らしい」ってなんだろう。「○○らしさ」という言葉はよく耳にするけれど、私はそんなの、個人の価値観の差異があつただけだと思う。

クリエイティブで自由な大人を目指しているけれど、建前が使えなかつたり空気が読めないわけではない。その能力はもつてているし、T P Oで使いわけられる。ただ、気を遣う必要のない所では、自由に意見して行動したい、というだけだ。そんな成人は、見た目が大人なだけの人より、よっぽど「大人」なはずだ。芯が強くて、気遣いのできる大人。そんな魅力的な「大人」に私はなりたい。

大人にしかできないこと

《高校生・一般の部 入選》

比治山女子高等学校三年 吉原 愛佳

私は、弱い立場の人たちに寄り添えるような大人になりたいと思っています。弱い立場の人というのは、具体的に言うと経済的な理由で家庭の問題から逃げたくても逃げられない、誰かに相談したくても相談できないというような状況の子どもや女性などのことです。

現代の社会では家庭での問題が原因で命を落としてしまう人々がたくさんいます。たとえば、子どもが大人からの虐待などで児童相談所に相談に行つても、その子どもに適切な対応を行わなかつたことで、子どもが命を落としたというニュースを何度も見たことがあります。私はそういったニュースを見て、とても胸が痛くなりました。このような子どもたちを救えるのは、大人しかいません。

私は現在、このような人々を救うことのできるような職業に就いて、一人でも多くの人を救えるような大人になりたいと思っています。